

平成26年度 こころの医療センター院長マネジメントシート(最終実績)

病院名	こころの医療センター										
ビジョン	県民のみなさんのより良いこころの健康をめざし、三重県の精神科医療をリードします。										
経営方針	精神科急性期医療の拠点病院として整備充実し、患者様や地域関係機関等からのニーズに対応すべく、精神科専門医療を充実することによって、県民から愛され信頼される病院づくりを目指します。										
区分	経営シナリオ	目 標	主な成果 (重要成功要因)	業績評価指標	H25 実績値	H26 目標値	H26 実績値	アクションプラン	実績評価	次年度の課題	
顧客の 視点		◎重点取組事項	病院機能の再編・推進	訪問看護件数	3,751件	4,550件	4,537件	・アウトリーチサービス、日中活動支援の充実	・訪問看護体制の充実(H26.9月 4人→5人)を行った。	・訪問看護をはじめとするアウトリーチサービスやデイケア等の日中活動支援に対するニーズに対応するための体制整備を引き続き進めていく必要がある。	
		開かれた病院経営	ステークホルダーとの協働	地域精神保健医療体制検討会設置		-	設置	設置	・地域精神保健医療体制検討会(仮称)の設置	・保健所との協議を進め、地域精神保健医療体制検討会の設置することができた。	・地域精神保健医療体制検討会の開催に向けて、関係機関と調整していく必要がある。
		早期社会復帰の推進	満足度の高い医療の提供	受診希望率 病院推薦率		81.1% 71.3%	81.5% 83.5%	79.1% 75.8%	患者等ニーズの把握	・施設、設備面の改善を図るとともに、コミュニケーション能力を高める研修を実施した。	・引き続き、患者の皆さんの声を踏まえながら、研修等を実施していく必要がある。
		社会ニーズに応じる精神科専門医療の提供	新患者の寛解率の向上	新患者の寛解率		69.0%	60.0%	68.0%	・早期、急性期医療の充実 ・地域生活支援体制の推進	・寛解率は引き続き高いレベルを維持することが出来た。	・引き続き、早期、急性期医療の充実を図りながら、寛解率の向上に努めていく必要がある。
			精神科救急・急性期医療の推進	救急患者受入患者数		221人	220人	212人	・精神科救急受入態勢の確保	・200人を超える受入要請に対応することができた。	・三重県精神科救急医療システムの支援病院として受入態勢を維持していく必要がある。
			地域生活支援体制の充実	長期入院患者(5年超)の退院数 長期入院患者の多職種チーム医療		7件 6件	8件 10件	4件 8件	・地域移行支援事業(退院促進事業)の活用 ・リハビリバスの院内普及	・長期入院患者退院数の目標は下回ったものの、要請のあった救急の受入はすべて受け入れることが出来た。 ・目標は下回ったものの、全体の長期入院患者数は減少することができた。	・引き続き、長期入院患者の退院の地域移行を図って在院日数の短縮に努めていく。
			地域医療機関との連携	紹介率 医療機関訪問件数		50.4% 200件	55.0% 200件	53.9% 200件	・地域医療機関への訪問 ・地域連携ミーティングの開催	・紹介率は目標を下回ったものの、医療機関等の訪問については目標を達成できた。	・地域の医療機関との連携を深めながら、紹介率の向上を図っていく必要がある。
財務の 視点		◎重点取組事項	臨床・経営指標に基づいた病院運営の確立	臨床・経営指標の追加・充実	一部見直し	見直し	一部見直し	・臨床・経営指標の追加等、データ分析	・他病院の指標を参考とし、一部見直しを行った。	・指標の見直しを継続するとともに、職員に周知していく必要がある。	
		医療収支改善	医療収支比率の改善	医療収支比率	73.1%	76.3%	72.0%	・診療報酬制度改定に対応した、精神科専門治療の充実	・入院については、平均在院日数の短縮(H25年度122.5日→H26年度114.0日)により、病床稼働率が低下した。	・低下した病床稼働率や外来単価の向上等を図っていく必要がある。	
				経常収支比率	100.1%	105.8%	102.0%	・精神科特定入院料の算定	・外来については、H26年度当初から新外来棟稼働させたことにより、平均患者数が増加(H25年度253.0人→H26年度260.1人)した。		
				職員給与費比率	89.4%	85.1%	91.6%	・収支改善に向けた病院機能の検討	・病棟機能の明確化と病棟間の連携		
				病床稼働率	85.0%	90.8%	80.9%	・アルコール病棟1日平均患者数 ・認知症病棟1日平均患者数 ・外来1日平均患者数	・飲酒運転違反者に対する診察 ・認知症相談、啓発研修の実施 ・増築外来棟の有効活用		
				アルコール病棟1日平均患者数	35.6人	38.0人	32.2人				
				認知症病棟1日平均患者数	36.7人	44.0人	38.8人				
		外来1日平均患者数	253.0人	270.0人	260.1人						
内部プロセスの 視点		◎重点取組事項	切れ目のない病院機能体制の確立	重度療養患者医療体制検討	検討	検討	構築	・重度療養患者に対する治療の体制づくり	・重度療養患者に対する治療の体制づくりに、多職種による勉強会や先進地調査を実施し、治療体制を構築した。	・重度療養患者の早期退院に向けて適切な治療を進めていく必要がある。	
		救急急性期治療病院への体制整備	常時急性期患者受入体制の確立	措置鑑定対応件数	47件	30件	49件	・県障がい福祉課・保健所等との連携、院内救急体制整備	・措置鑑定要請に対して100%対応することができた。	・措置鑑定要請に100%対応できるよう、態勢を維持していく必要がある。	
		精神科倫理に則った病院運営	医療安全感染管理の徹底	医療安全研修会参加率向上	82.4%	83.0%	90.6%	・医療安全研修の複数回実施	・医療安全研修を複数開催し、研修参加機会の供与に努めた。	・引き続き、医療安全意識の醸成のため、研修機会の供与を図っていく。	
学習と成長の 視点		◎重点取組事項	人材育成の充実取組	精神科医療倫理研修開催	1回	1回	1回	・倫理委員会の運営 ・職員表彰制度の継続実施	・倫理研修を開催した。 ・職員投票による表彰を行った。	・引き続き、医療倫理や職員のスキル向上につながる研修を実施し、人材を育成していく必要がある。	
		専門性の向上	専門能力を身につけた職員の増加	人材育成研修開催数	1回	1回	1回	・精神科医療スタッフのスキル向上	・院内全職員を対象にした研修を開催し知識向上を図った。		
		三重県の精神科をリードする取組	精神科医療スタッフの育成	看護実習等受け入れ数	2,067人	2,200人	2,074人	・院内受け入れ体制の整備 ・研修プログラムの見直し、充実 ・看護大学との連携による臨床能力の向上	・昨年実績と同程度の受入をすることが出来た。	・県内の精神科医療水準の向上のため、実習生等を積極的に受け入れていく必要がある。	
		風とおしの良い職場づくり	職員満足度の向上	職員アンケートの「満足度」の設問での肯定的な回答割合	-	62.0%	60.4%	・ワーク・ライフ・マネジメントの推進	・モチベーションが向上するよう職種間での対話を促進した。	・引き続き、対話を通じてワーク・ライフ・マネジメントを推進する必要がある。	